

事業評価書

補助事業名	医療に関する事業:予防接種助成事業								
補助事業者名	狭山市長								
実施場所	狭山市内医療機関								
補助事業の成果の目標	<p>予防接種法に規定されている麻疹(はしか)・風疹(三日はしか)は感染力の強い疾病であり、また、ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風、ヒブ感染症は感染すると重篤になる場合が多い疾病である。これに対して、最も有効な対策は発生の予防であり、その手段として、予防接種により免疫を獲得することが重要とされている。</p> <p>本市では、予防接種に要する費用を負担することなく、接種を受けられる環境を整備するとともに、市民に向けて適切な情報提供を行っており、対象者の8割以上が接種を受けている状況である。そこで、本事業を継続して実施し、ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、麻疹(はしか)、風疹(三日はしか)、破傷風、ヒブ感染症の発生及びまん延の防止に取り組むことで、市民の健康増進を図る。</p> <p>【参考指標】 令和6年度麻疹、風しん接種対象者数:1,863人 令和6年度四種混合(ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風、ヒブ感染症)接種対象者:822人 令和7年度五種混合(ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風、ヒブ感染症)接種対象者:822人</p>								
補助事業の内容	ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、麻疹、風しん、破傷風に係る予防接種費の助成								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成23年度から令和7年度 基金の処分:平成24年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	23	62,216,000				62,216,000		62,216,000	
	24	72,468,000				72,468,000	40,000,000	94,684,000	46,154,905
	25	56,009,000				56,009,000	25,000,000	125,693,000	26,070,500
	26	25,000,000				25,000,000	25,000,000	125,693,000	25,407,839
	27	10,000,000				10,000,000	24,000,000	111,693,000	24,437,997
	28	29,749,000				29,749,000	24,000,000	117,442,000	24,657,396
	29	10,086,000				10,086,000	23,000,000	104,528,000	23,485,058
	30	1,900,000				1,900,000	40,000,000	66,428,000	52,145,890
	1	10,000,000				10,000,000	42,000,000	34,428,000	53,716,461
	2	28,842,000				28,842,000	50,000,000	13,270,000	53,424,066
3	76,330,000				76,330,000	49,500,000	40,100,000	49,854,871	
4	68,473,000				68,473,000	47,000,000	61,573,000	47,579,697	
5	77,294,000				77,294,000	49,000,000	89,867,000	49,591,916	
6	15,334,000				15,334,000	53,000,000	52,201,000	53,289,060	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 令和6年度予防接種助成事業について、接種対象者数に対し麻疹・風しん及び五種混合は8割以上が予防接種を受けていることから、市民の健康増進が図られたと判断する。 〔地域住民への周知の実施状況〕 「健康カレンダー」、狭山市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								

事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無
-----------------------	---

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:小中学生学習支援事業(基金)								
補助事業者名	狭山市長								
実施場所	狭山市内小中学校(小学校:15校、中学校8校)								
補助事業の成果の目標	<p>本市では、教育振興基本計画における基本目標の1つに、「確かな学力と時代の変化に対応する力の育成」を掲げており、一人一人の学力を確実に伸ばすことを目指している。そこで、さやまっ子・茶レンジスクールを実施し、児童生徒の学校外の学習時間の確保、学習指導の補完及び家庭学習の習慣化を図る。</p> <p>また、語学指導助手を各小中学校に配置することで、より効果的な英語教育を推進し、外国語教育の充実を図る。</p> <p>【参考指標】 小学校:15校、中学校:8校 市内小学校第4学年の児童数:985人(令和6年4月1日現在) 市内中学校の生徒数:3,154人(令和6年4月1日現在)</p>								
補助事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業以外で生徒が学習する機会を設け、学習活動を支援する。 ・外国語語学指導助手の任用及び配置 								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:令和6年度から令和15年度 基金の処分:令和6年度から令和15年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)					基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額	
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益				計
	6	39,000,000				39,000,000	18,000,000	21,000,000	0
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕</p> <p>小学生学習支援事業につきましては、延べ参加者数が2,285名であり、令和5年度の延べ参加者数2,459名に対し、174名減少した。講義後のアンケートから、算数の内容が分かるようになったと考えている児童が事前に比べて1.3倍程増え、わからないという児童が1割未満になったことから、算数への理解が深まった児童が増加したことがうかがえる。また、そのことが自信にもつながったと考えられる。事前・事後テストを比較すると、全体平均で9.9点のアップとなり、学習成果が窺われる結果となった。ある学校については、平均点が66.2点から88.5点と大幅に上がったことから、本事業の成果が点数の上昇につながったと考えられる。</p> <p>中学生の夏季冬季集中講座につきましては、延べ参加者数が2,473名(夏季1,933名(内オンライン124名)、冬季540名(内録画視聴47名))であり、令和5年度の延べ参加者数2,907名に対し、434名減少した。講義後のアンケートでは「授業は分かりやすかったですか」との質問に対し、75パーセント以上の生徒が分かりやすかったと回答しており、「基礎から学べたのでわかりやすかった」「学校で学んだことをしっかりと復習することができた」「家庭学習の習慣が身についた」等の意見が寄せられたことから、『中学校の学習指導を補完し、参加する生徒一人一人の確かな学力の定着を図る』という、本事業の目的に対する成果であると判断する。</p> <p>また、令和6年度に新たに1名の語学指導助手を任用し、市内小中学校に14名の語学指導助手を配置することができ、中学校専属の語学指導助手を増員することができた。これにより、語学指導助手による授業時間を増やすことができ、外国語教育の充実を図ることができた。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕</p> <p>生徒及び保護者向けの募集案内、狭山市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								

事業の評価に際しての第
三者機関の活用の有無

無

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設:消防ポンプ自動車購入				
補助事業者名	狭山市長				
実施場所	狭山市笹井1836				
補助事業の成果の目標	<p>平成15年12月に更新した狭山市消防団第7分団第2部の消防ポンプ自動車は、更新後20年経過し、狭山市消防団消防自動車等の更新計画に基づく、更新期間(18年)を満了している。地域の防災力を低下させることなく維持し、地域住民の安全・安心な生活環境を整備する事を目的とするとともに、近年消防団員の減少という大きな問題に対し、普通自動車運転免許で運行することが可能な、3.5トン未満の車両に更新することで、若手団員の活躍と今後多くの入団者を期待する。</p> <p>【参考指標】 第7分団第2部団員数(令和6年4月1日現在) 13名 令和5年度における水火災・台風警戒等への第7分団第2部の出動件数 5件 令和5年度における第7分団第2部の出動延べ人員数 370名</p>				
補助事業の内容	消防ポンプ自動車(3.5トン未満CD-I型)購入				
補助事業の始期及び終期	令和6年9月30日 から 令和7年2月7日まで				
事業費及び交付金額		令和5年度以前	令和6年度	令和7年度以降予定	計
	事業費	円 —	円 24,149,290	円 —	円 24,149,290
	交付金額	円 —	円 19,000,000	円 —	円 19,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 団員に聞き取りを行った結果、3.5トン未満の消防ポンプ自動車を購入(更新)したことにより、これまで、免許の関係で運転が制限されていた団員や、今後、入団してくる若年層の団員も運転が可能となりうれしく思っている。 また、車両は小型化・軽量化したが、放水能力はこれまでと同等で住宅街や狭い道もスムーズに走行できるようになった。等の回答を得ることができた。 このことにより、地域の防災力・消防力の充実強化が図られ、災害を最小限に抑えることが可能な、安全安心な生活環境を整備することができたと評価できる。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 消防ポンプ自動車左右側面に、防衛省の交付金を活用して整備した旨を明記。基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に掲載。(令和7年6月頃掲載予定) 狭山市公式ホームページ及び狭山市消防団ホームページに掲載中。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	狭山市総合計画実施計画に基づき、非常備消防機械施設等整備事業として消防自動車の更新事業を実施していく。				

事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無	無
---------------------------	---

事業評価書

補助事業名	交通施設:A第720号線				
補助事業者名	狭山市長				
実施場所	狭山市 富士見1丁目 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に舗装補修工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は狭山市の中心部を通るように川越市から狭山市にかけて、国道16号と並走し、それを補完する幹線市道として重要な路線である。</p> <p>近年では、県道所沢堀兼狭山線の交通量が増加し、舗装の劣化による破損が著しく車両走行の安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化等が生じている。</p> <p>そこで、補助事業を活用し舗装を打ち替えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 入間川地区人口/世帯数(45,296人/22,934世帯) ※令和6年5月1日現在</p>				
補助事業の内容	工事延長:L=220.0m 道路幅員:W=7.80m 舗装補修				
補助事業の始期及び終期	令和6年度から令和7年度				
事業費及び交付金額 ※()は総事業費		-	令和6年度	令和7年度	計
	事業費	円 -	円 26,470,400 (26,823,500)	円(予定) 27,000,000	円 53,470,400 (53,823,500)
	交付金額	円 -	円 25,000,000	円(予定) 25,000,000	円 50,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 今年度より事業が開始し、地域住民等に対するアンケートの結果、路面の平坦性、騒音及び振動等が改善され、満足しているとの声が寄せられたこと、また継続的な整備要望もあり、補助事業への好印象と期待が得られたことから、成果目標が達成できたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 工事のお知らせ、工事看板、並びに基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに防衛省交付金活用事業であることを掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>今年度より2年間の事業であり、狭山市舗装修繕計画の路線に位置付けており、老朽化を抑制し長寿命化の促進と維持管理における経費の縮減を行うとともに、道路の環境改善を図る。</p> <p>については、今後も地域住民の意見・要望を把握しながら周辺への影響を考慮した上で事業を促進し、地域住民の生活環境の向上を図る。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設:幹第24号線				
補助事業者名	狭山市長				
実施場所	狭山市 新狭山1丁目 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に舗装補修工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は古くから草刈街道として親しまれ、所沢堀兼狭山線を補完する幹線市道として重要な路線である。</p> <p>近年では、隣接する川越狭山工業団地の物流ルートとして交通量が増加し、舗装の劣化による破損が著しく車両走行の安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化等が生じている。</p> <p>そこで、補助事業を活用し舗装を打ち替えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 新狭山地区人口/世帯数(5,047人/2,906世帯) ※令和6年5月1日現在</p>				
補助事業の内容	工事延長:L=240.0m 道路幅員:W=6.91~7.35m 舗装補修				
補助事業の始期及び終期	令和6年度から令和7年度				
事業費及び交付金額 ※()は総事業費		-	令和6年度	令和7年度	計
	事業費	円 -	円 33,755,700 (35,841,300)	円(予定) 28,600,000	円 62,355,700 (64,441,300)
	交付金額	円 -	円 25,000,000	円(予定) 25,000,000	円 50,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 今年度より事業が開始し、地域住民等に対するアンケートの結果、路面の平坦性、騒音及び振動等が改善され、満足しているとの声が寄せられたこと、また継続的な整備要望もあり、補助事業への好印象と期待が得られたことから、成果目標が達成できたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 工事のお知らせ、工事看板、並びに基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに防衛省交付金活用事業であることを掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>今年度より2か年の事業であり、狭山市道舗装修繕計画の路線に位置付けており、老朽化を抑制し長寿命化の促進と維持管理における経費の縮減を行うとともに、道路の環境改善を図る。</p> <p>については、今後も地域住民の意見・要望を把握しながら周辺への影響を考慮した上で事業を推進し、地域住民の生活環境の向上を図る。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				